

## 第2ステージ迎え商談機能を拡充 「TEJ2017」の出展申込受け付け

日本観光振興協会（日観振）とJATA、日本政府観光局（JNTO）が主催するツーリズムEXPOジャパンは、9月21日から24日までの4日間にわたり東京・有明の東京ビッグサイトで開催する「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2017」の出展申込を、4月28日まで受け付けています。

新たにJNTOが主催団体として加わる今年は、海外・国内・訪日旅行を「三位一体」で捉え、BtoBプログラム拡充の二環として新たに展示商談会の仕組みを導入すると同時に、情報通信技術やインバウンド支援企業・団体など新たなサプライヤーによる出展と来場の拡大も図ります。

TEJは2014年から2016年



TEJ2017では、アポイント制の商談が充実することになります（写真はTEJ2016のアウトバウンド商談会）

までの3カ年における「ホップ・ステップ・ジャンプ」の第1ステージから、一般向けのプロモーションに加えて商談会と展示会での商談機会を拡充する第2ステージを迎え、観光産業に関わる幅広い業種からの出展だけでなく、異業種からの積極的な参加も促して、観光産業における多種多様な連携を通じたビジネスチャンスの拡大を具現化する場へとステップアップしていきます。

TEJ2017では、9月21日の特設商談会場で出展者がバイヤーを訪問する事前アポイントメント制商談に続いて、9月22日にも展示会場内出展ブースでバイヤーが事前アポイントメントにより出展者を訪問する商談が実施される予定で、アポイントメント制の商談が充実することになります。

会期前には、商談会参加バイヤーと出展者の情報が「キーパーソンズ・リスト」としてバイヤーと出展者に提供されることから、事前の商談や期間中の商談アポイントで個別のアプローチが可能となるほか、TEJ2017閉幕後にも連絡先情報として活用できます。

また、主催団体であるJATAの会員を中心に国内各地の旅行会社を集めた商談コーナーの開設も計画されており、

着地型の旅行商品やエリアテーマといった特化型の旅行商品などについて情報発信も行えます。

急速に拡大する訪日インバウンドビジネスについても、JATAのツアーオペレーター品質認証制度の登録旅行会社や在日ランドオペレーターと出展者との商談会を新設。地域観光光材の新たな情報収集やインバウンド商品の開発に向けたネットワーク強化などを行うことが可能です。

また、TEJ2017では、インバウンド需要の増加を背景に広がる観光インフラ整備を行う企業や観光支援を行う事業者などとインフラ整備に取り組み自治体や観光事業者との展示商談会も実施することになっており、訪日インバウンドビジネスをサポートするTEJの機能も全面的にレベルアップします。



TEJ2016の国内旅行商談会

## 「ジャパン・ツーリズム・アワード」募集中

ツーリズム業界の発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果に寄与する取り組みや、国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰する「ジャパン・ツーリズム・アワード」は5月31日まで、応募を受け付けています。

「国内・訪日」「海外」の2つの領域とUNWTO部門賞で募集しており、「国内・訪日」と「海外」の2つの領域には「ビジネス部門」「地域部門」「メディア部門」の3部門があります。

2017年度のテーマは、「持続可能な観光による社会の発展の実現」です。特に、国内・訪日では「DMOを含む広域観光による社会の活性化」、海外領域では「新たな需要創造と促進活動」に重点を置きます。

「ビジネス部門」では、国内外における交流人口の拡大やツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した取り組みなど、「地域部門」では、国・地域の観光関連団体が一体となった魅力ある観光地域づくりや国・地域の観光資源を活かした総合的な地域活性化に向けた取り組みなど、「メディア部門」では、国内外への旅行需要喚起・促進や地域の価値向上に大きく貢献した広報媒体・プロモーションなどを表彰します。

UNWTO部門賞や応募資格・応募方法などについては、公式ページ（<http://www.t-expo.jp/biz/jta/index.html>）をご覧ください。